

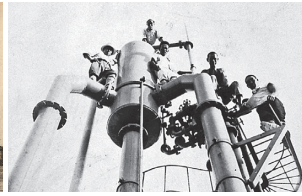
大気社の沿革



1913 合資会社「建材社」の名で創業



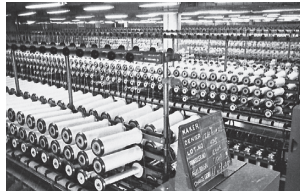
1918 東京海上ビル
日本初の近代的なオフィスビル



1935 錦華毛糸津工場に建設中の
スチームゼット



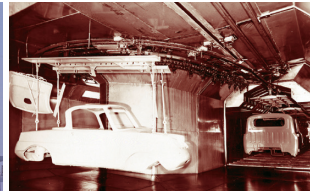
1953 いすゞ自動車大森工場
スプレーブース



1955 東洋ナイロン社工場(韓国)



1960年代 東京日産自動車販売ビル
(現・六本木ヒルズノースタワー)



1961 東洋工業F工場のR360クーペ
塗装用オープン

1913-1948

近代日本の基礎づくりを担う

日本の紡績産業が飛躍的に伸長する中、製糸工程で重要な温湿度制御や気流制御などの空調技術を強化し、この分野で業績を急拡大させた。

1949-1970

高度経済成長とともに 事業領域を拡大

日本では高度経済成長のもと、さまざまな分野で工場建設が進み、工場で要求される空調の質も高度化。当社は精密空調、クリーンルームへと技術力を高め、自動車の塗装プラント建設事業に参入した。

1971-1989

グローバルな事業展開

日系顧客の海外進出に歩調を合わせ、当社はタイ現地会社の設立をはじめ、世界各地に拠点を設置し、海外工事の経験を積んだ。日系のみならず、地場系、欧米系へも顧客を広げた。

1950

1960

1970

1980

1990

1974年(昭和49年)
1973年(昭和48年)
1971年(昭和46年)

株式を東証二部に上場
社名を「株式会社大気社」に変更
タイ・バンコクに、Thai Kenzaisha Co., Ltd.(現・Taikisha(Thailand)Co., Ltd.)を設立
組織風土委員会の発足
社は「顧客第一」を発表/アメリカJOY社と軸流送風機の技術提携

1967年(昭和42年)
1964年(昭和39年)

富士写真フィルム竹松工場に本格的クリーンルーム設備納入
枚方実験室を開設し研究開発の礎を築く(のちに技術研究所に発展)
チリ日産社の塗装設備工事竣工(塗装設備分野で初の海外工事)
東洋工業(現・マツダ)から当社初の自動車塗装一貫ラインを受注

1961年(昭和36年)

1955年(昭和30年)
1953年(昭和28年)

パキスタンの2繊維工場に空調設備納入(戦後の海外工事第1号)
日産自動車オースチン工場にスプレーブース納入(塗装設備事業に本格参入)

1949年(昭和24年)
1940年(昭和15年)
1933年(昭和8年)
1918年(大正7年)
1914年(大正3年)
1913年(大正2年)

合資会社建材社を改組し、株式会社建材社を設立
上海倉庫に卵冷凍設備を納入(初の海外工事)
近江帆布三瓶工場に空調設備を納入(当社初の紡績工場空調)
東京海上ビルに日本初の強制循環式温水暖房設備を納入
ドイツ人技師A.P.テーテンスを招聘。ドイツのブレーダス鉄工社製ボイラ等の輸入開始
合資会社建材社(大気社の前身)、東京・銀座にて創立



1973 社名変更の際の新聞広告



1981 ニュードバイ病院(アラブ首長国連邦)
空調・給排水衛生・電気・医療ガス設備工事



1994 ペトロナスツインタワー
(マレーシア)



2010 研究開発センターの塗装ロボット
(中国・天津)



2014 Encore Automation LLC(アメリカ)
と業務・資本提携



2018 植物工場実証開発センター設立



2019 テクニカルセンター開設



2020 Nicomac Clean Rooms Far East
LLP(インド)と業務・資本提携

1990-2001

IT時代の到来

IT技術の普及が一気に進んだ時代、クリーンルーム設計施工で先端的な技術を持つ当社は、IT機器の核となる半導体、ハードディスク、コンデンサ等の製造工場建設に参画し、電子業界における評価を高めた。

2002-

グループ総合力の時代へ

IT化の進展やグローバル化により、国境を越えた投資や分業が多く産業で一般化した。大気社グループは、カンボジア、ミャンマーなど新・新興国と呼ばれるエリアにも子会社を開設。子会社間での調達業務支援や人的資源補完を行い、プロジェクトをグループ総合力で解決する事案も増えている。社会・顧客のニーズに応え、新たな領域である植物工場事業や航空機塗装事業などにも取り組んでいる。

2000

2010

2020年(令和2年)
2019年(令和元年)
2019年(平成31年)
2018年(平成30年)
2017年(平成29年)
2014年(平成26年)

2013年(平成25年)
2011年(平成23年)

2010年(平成22年)

Nicomac Clean Rooms Far East LLP(インド)と業務・資本提携
ラオス・ビエンチャンにTaikisha Lao Co., Ltd.を設立
神奈川県座間市にテクニカルセンターを開設
東京都板橋区に植物工場実証開発センターを設立
配電盤製造会社BTE Co.,Ltd.(タイ)と業務・資本提携
自動車・航空機塗装のロボットアプリケーションシステムに強みを持つ
Encore Automation LLC(アメリカ)と業務・資本提携
ミャンマー・ヤンゴンにTaikisha Myanmar Co., Ltd.を設立
Geico S.p.A.社(イタリア)と業務・資本提携
カンボジア・プノンペンにTaikisha (Cambodia) Co.,Ltd.を設立
売上高に占める海外の比率が50%を超える
結球レタスの安定量産技術を確認
大気社環境経営ビジョンを制定
過酸化水素による新除染システム「ハイパードライデコ」を共同開発
天津に天津大気社塗装系統有限公司を設立
完全人工光型植物工場事業に参入

2009年(平成21年)
2006年(平成18年)

プレコート式ドライ塗装ブースを開発
全社コンプライアンス委員会およびコンプライアンス部を新設
熱源システムの省エネ効果を最大化する「熱源最適制御システム」を開発
売上高が2,000億円を突破(2006/3期)

2004年(平成16年)

シンガポールにTaikisha (Singapore) Pte. Ltd.を設立
総合研究所・技術研究所と新事業技術開発室を統合し、研究開発センターを開設(神奈川県愛川町)
海外でのISO14001取得

2003年(平成15年)

前処理・電着搬送システム「E-DIP」の共同開発など塗装工場の環境性改善(2008年実用化)

1999年(平成11年)
1998年(平成10年)

ISO14001を取得(東京本店)
ベトナム・ハノイにTaikisha Vietnam Engineering Inc.を設立
大気社製RTO蓄熱式直接燃焼排ガス処理装置を開発(以降、多塔式、回転式等ラインナップの増強)
ISO9001を取得(クリーンルーム部門)
環境対策室を設置、大気社環境憲章を制定

1997年(平成9年)
1996年(平成8年)
1995年(平成7年)

インド・ニューデリーにTaikisha Engineering India Private Ltd.を設立
フィリピン・マニラにTaikisha Philippines Inc.を設立
NMP回収システムを開発
インターネットや携帯電話が爆発的に普及、この前後に当社はDRAM製造用大型クリーンルーム設備工事を相次いで受注